

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

- A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

A	たいへんよい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

保育所・こども園名 【 戸田駅前保育所 】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	A	A
評価の根拠 毎月の全職員が参加する「職員会議」で、弘済会の保育理念、園の保育方針、保育目標の共有化を図っている。		
今後の改善・充実 保育理念、保育方針、保育目標に関する個々の事象内容も検討していきたい。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができている	A	A
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができる	B	B
評価の根拠 保育業務は子供たちとのふれあいの中で、常に子供たちの安全を保つ使命があり、楽しんでの保育は難しいと思う。		
今後の改善・充実 環境面での安全を強化し保育士の負担を少しでも軽減していきたい。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 コロナ禍に対応し計画的に玩具、遊具等を使用して保育士による消毒作業が確実に実施されている。		
今後の改善・充実 保育士の一人ひとりが、安全や衛生、命の大切さを意識した保育を確実に継続していく。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	C	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 コロナ禍に対して行事の実施の可否や縮小、内容についてみんなで検討し対応している。		
今後の改善・充実 コロナ禍が今後収束したとしても、これからも行事の際はその都度実施内容を皆で検討していく。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 毎月、各クラスの代表が参加して「食育会議」を開催し、来月の献立メニューや提供された食事の内容を議論している。		
今後の改善・充実 子ども達の食事の様子を調理師が見てまわり、子ども達の反応を確かめ次の調理に活かしていくようにする。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	A	A
評価の根拠 打合せの時間や各種会議の開催出来る日が限られている中でも、計画的に会議等が開催されている。		
今後の改善・充実 園長、主任、リーダーのコミュニケーションを図りながら各種会議の効率化を図っていく。		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じている	A	A	
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A	
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようになっている	A	A	
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A	
⑤ 室内の衛生、クラス回りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A	
評価の根拠 看護師の指導の元にコロナ対策等変化に対応しながら的確に実行されている。			
今後の改善・充実 毎月の全員が参加する「安全会議」を活用して看護師からの指導を受けながら、保健・安全指導を強化していく。			
8. 研修・研究について			
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A	
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A	
③ 研修報告を園内で実施している	A	A	
評価の根拠 常に子ども達の遊びの広がりを意識した保育を行っている。全職員が出席する「職員会議」で研修報告を実施している。			
今後の改善・充実 現在も実施しているが各種研修の周知及び個々の職員に役立つ研修は対象者に受講の声掛けを行っていく。			
9. 情報について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A	
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A	
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	C	B	
評価の根拠 個々の保育士がブログ・日誌等作成時に個人情報に気をつけており、表記内容に迷う時は主任等に相談している。			
今後の改善・充実 社会においての個人情報の最新状況について、適宜「職員会議」で周知を図っていく。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A	
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A	
評価の根拠 毎朝、毎月の「安全点検表」により、計画的に行っている。			
今後の改善・充実 「安全会議」により不安全な設備等の議論を行っていく。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A	
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A	
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A	
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A	
評価の根拠 コロナ禍において、保護者支援に関しても一つひとつ議論して内容を考えて実施している。			
今後の改善・充実 環境の変化に対応しつつみんなで相談しながら、よりよい保護者支援を継続していく。			
12. 開かれた保育所づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に開放している	A	A	
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A	
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A	
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A	
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A	
評価の根拠 コロナ禍においても地域の子育て支援の大切さを意識して、密を避けるように考えた内容で実施して来た。			
今後の改善・充実 今後も厳しい環境が続きますが、変化に対応しながら地域の方に喜ばれる子育て支援を行っていく。			
13. 情報発信について			
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	A	A	
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	A	A	
評価の根拠 コドモンを使用して定期的な情報発信や戸田市広報により子育て支援情報等を発信している。			
今後の改善・充実 コドモン機能を広く活用して、更に多くの情報を適格に発信していくようにする。			